

クスノハカエデ

Acer oblongum Wall. subsp. *itoanum* (Hayata) Hatsushima

ムクロジ目 ムクロジ科 トチノキ亜科 (クロンキスト体系: カエデ科)

日本で唯一常緑のカエデ。15mにもなる木で沖縄に産するが、今やレッドデータリスト植物。冬-5℃になる土地で、年中日陰でも冬を越す強い植物。地植えにすると成長が早い。鉢植えで室内でもよく育つ。葉は皮質で鋸歯はない。葉裏は粉白色。若木の葉は3裂になる。芽出し直後の葉は赤茶色になる木もある。雌雄同株。花は散房花序で多くの花が咲くが、雄花が多く混じるので、果実は少ない。6月頃、果実の翼が赤く色づくが、一週間ぐらいで後、緑色になる。

原産地・分布: 日本 (沖縄)

***Acer* 属 花産業必修1000属検定 C級**

カエデ属: イロハモミジ、イタヤカエデ



千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-24

Name ID: 10050